



調査から見える 浦安っ子の今



地域に愛される境川にするために、自分たちにできることを考え、発表する（東小学校）

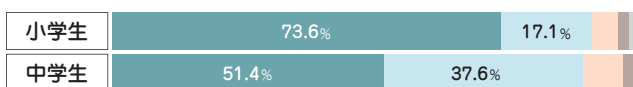
自分の住んでいる町や地域が好き

浦安市の小中学校の児童生徒を対象に、平成30年度に実施した浦安市生活実態調査では、「自分の住んでいる町や地域が好きだ」の質問に肯定的（とてもそう+まあそう）に回答した小学生は90.7%、中学生は89.0%でした。

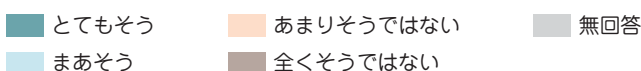
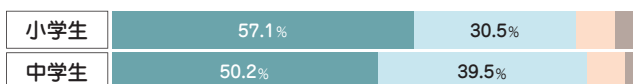
「近所の人にあいさつをしている」（とてもそう+まあそう）と回答した小学生は87.6%、中学生は89.7%でした。

浦安子どもたちは、地域の人達に温かく見守られながら育ち、自分たちの住んでいる町“浦安”が好きだと感じています。

Q 自分の住んでいる町や地域が好きだ



Q 近所の人にあいさつをしている



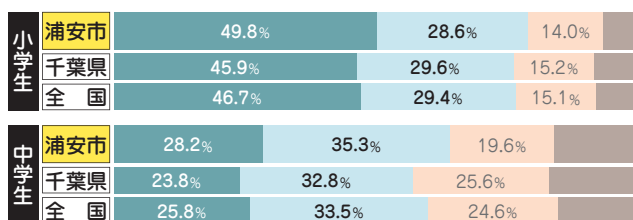
地域のことをもっと知ってもらいたい

小学6年生と中学3年生を対象に行われた令和元年度全国学力・学習状況調査では、「日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか」の質問に、肯定的（当てはまる+どちらかといえば）に回答した小学生は78.4%、中学生は63.5%で、全国値より小学生は2.3ポイント、中学生は4.2ポイント高くなっています。

一方で、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」の質問に、肯定的（当てはまる+どちらかといえば）に回答した小学生は54.6%、中学生は33.6%で、小学生は全国値と同程度で、中学生は5.8ポイント低くなっています。

多くの浦安っ子は、自分たちの住む町“浦安”を、他の地域の人たちに、もっと知ってもらいたいと思っています。このような気持ちを大切に、地域、家庭、学校が連携、協働して子どもたちを育てることにより、自分たちの力で、自分たちの住む町をよりよくしていこうとする参画の意識が高まるのではないかと考えます。

Q 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか



Q 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか

